



arcserve®

リアルタイムにデータを複製

Arcserve® Replication Arcserve® High Availability

遠隔データ保護・災害対策にお悩みの方へ



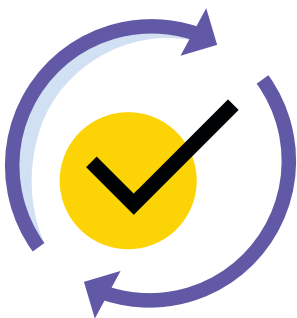
定期的な作業が大変で重要なデータを
バックアップできていない



障害があるとすぐにユーザ部門から
クレームがきて大変



細い回線でも
遠隔地に確実にデータを送りたい



データ保護・災害対策に なぜ「レプリケーション」が最適なのでしょう？

REASON

理由

1

簡単・手軽なレプリケーション。運用管理者の手間がかからない！

レプリケーションとは、稼働中の本番サーバのデータを、ほぼリアルタイムで他のサーバに複製する仕組みのことです。サーバ管理者にとって、レプリケーション最大のメリットは「導入後に手間がかからないこと」。本番サーバのデータに変更があれば、複製サーバにも随時変更がレプリケーションされます。バックアップ媒体を交換するなどの手間は必要なく、いつも通りサーバを使うだけでさらに既存環境はそのままに導入できるのもメリットです。時間やコストをかけられずにデータ保護が手つかずのサーバに最適なソリューションです。



自動複製
なので簡単、
手間いらず！

REASON

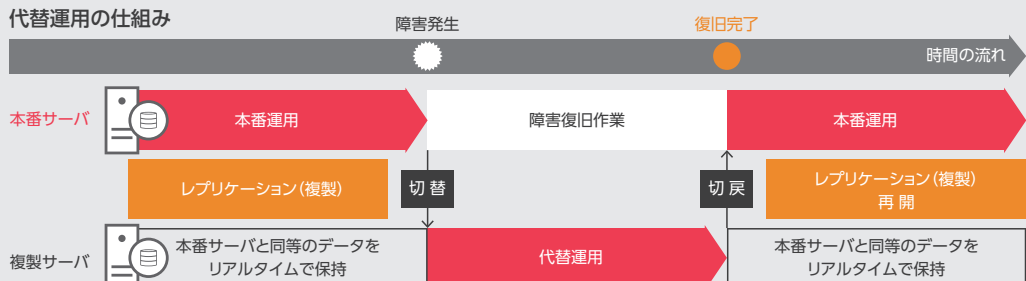
理由

2

万が一障害が発生した場合もユーザの仕事を止めない

万が一本番サーバに障害が発生した場合でも、データの参照先を複製サーバに切り替えるだけで、簡単に代替運用が行えます。本番サーバの復旧が完了すれば、複製サーバから本番サーバへスムーズに切り戻しが行えます。そのため、サーバの修復作業やリストア時間でユーザの業務を止めることがありません。

代替運用の仕組み



ユーザからの
クレーム
知らず！

REASON

理由

3

曜日や時間帯でネットワークの帯域幅を調整して、遠隔地にも安心転送

遠隔地へのデータ保護で最も注意すべきポイントは、拠点間を結ぶ回線です。専用線ではなく、業務でも利用している回線を利用してデータ転送を行うと回線を通るデータ量が増え、業務で必要なデータの転送にも支障が出てしまいます。運用を止めずに、回線の帯域幅を曜日や時間帯で制限する機能が備わっているため、業務時間中は利用する帯域を制限することでネットワークへの負荷を抑えることができます。詳細は無償実機トレーニングで体験ください。

帯域制御も
簡単！

無償実機トレーニング

<https://www.arcserve.com/jp/free-hands-on>

帯域帯のスケジュール設定画面

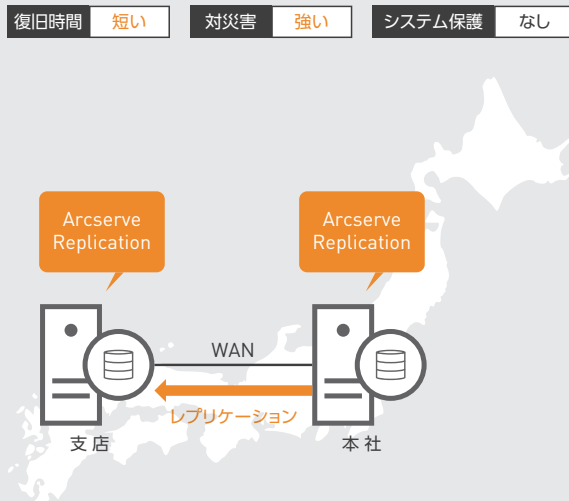
レプリケーションの実際の活用イメージ

遠隔地にデータを安全・簡単に転送

「もし洪水でサーバ室に浸水してしまったら…。」「地震でビルが倒壊してしまったら…」そんな事態に備え遠隔地へのバックアップは欠かせません。Arcserve Replication / High Availabilityなら、LAN に比べて信頼性の低いWAN 回線でも、データを難なく転送可能。遠隔地のサーバに自動でデータを複製できるので、毎週のテープ搬送に比べ災害対策の手間を大きく減らすことができます。さらに、障害時には複製サーバを本番サーバの代わりとして使う事で業務の停止時間を短く抑えられます。

こんなサーバ管理者におすすめ

- ▶ サーバの災害対策は行いたい、徹底して予算を抑えたい
- ▶ 少なくともデータだけは遠隔地にバックアップしておきたい
- ▶ テープ搬送で災害対策を行っているが、運用コストをさらに抑えたい

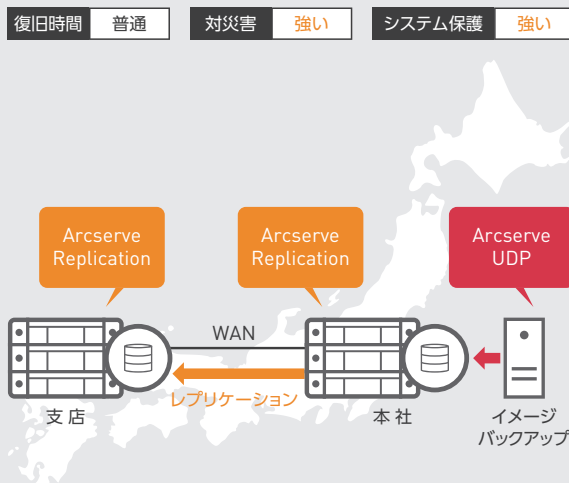


災害発生時でも、遠隔地でシステムを復旧し運用を継続

災害に備えて、システム全体のバックアップデータを遠隔地に保護したい。しかし、バックアップデータを丸ごとWANに流してしまうのはちょっと…。そんな時にはArcserve® Unified Data Protection (UDP) のバックアップデータをArcserve Replicationで災害対策サイトにレプリケーションします。Arcserve UDPでは継続的な増分バックアップを行うため、レプリケーションされるデータ量はわずかです。さらにArcserve Replicationの帯域制御機能や導入前のアセスメント機能など豊富な機能で帯域幅が限られた環境でも安心してご利用いただけます。

こんなサーバ管理者におすすめ

- ▶ システム全体のバックアップデータを遠隔地に保存したい
- ▶ 災害時に遠隔サイトでサーバを復旧したい



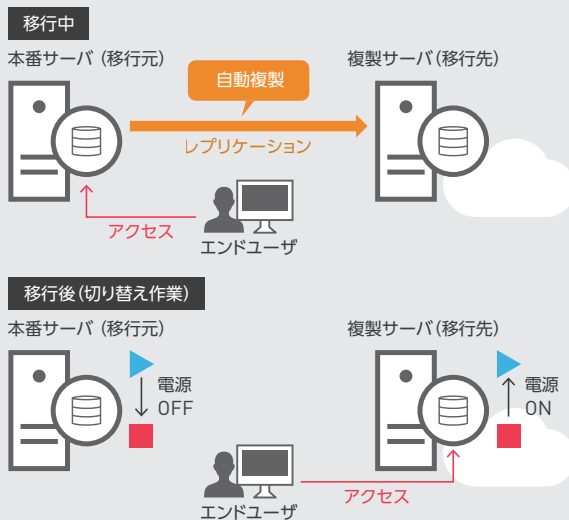
業務を継続したままで移行を実現

システム環境の移行には、多くの工数とコストがかかることが懸念されますが、Arcserve Replicationならファイル/フォルダ、DBなどアプリケーションごとのデータ移行や、OSも含めたシステム全体の移行などを、工数をかけずに簡単に実施できます。移行直前まで移行元サーバを利用できるため、移行による業務中断を最小限にします。切り替えは、移行元の電源を落とし移行先サーバの電源を入れる 単純な作業だけで終了します。移行先として、仮想環境だけでなくクラウドも選択できますので、将来のクラウドへの移行計画にも対応ができます。

※対応可能なクラウドについては動作要件を参照ください。

こんなサーバ管理者におすすめ

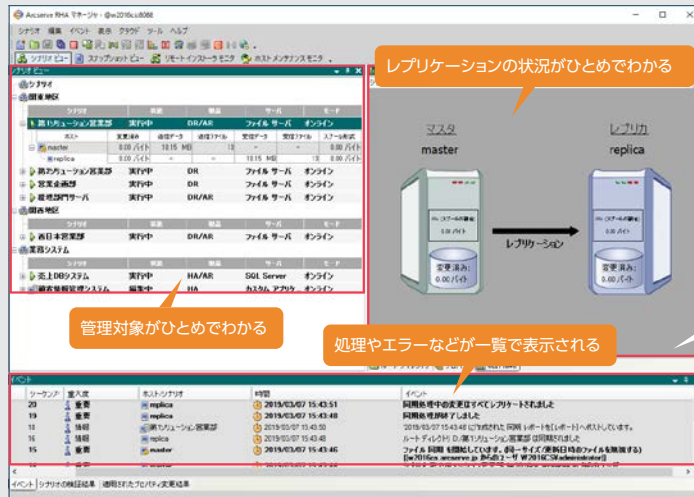
- ▶ 環境の入れ替えや移行後の環境設定に多くの時間を割きたくない
- ▶ 移行作業時の業務中断をできるだけ短くしたい



レプリケーションの決定版「Arcserve Replication」

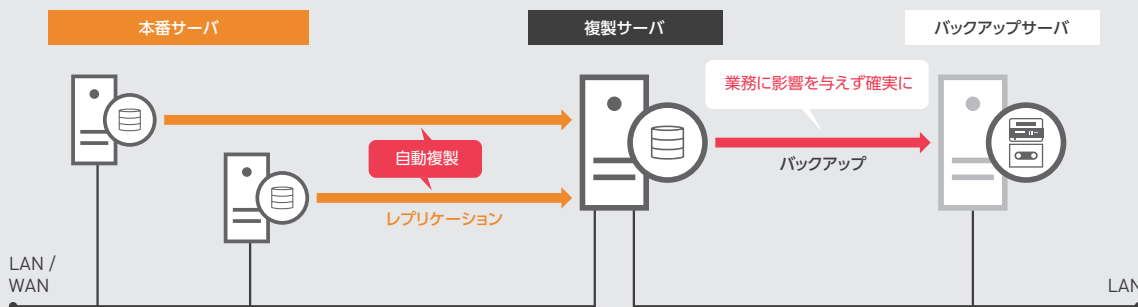
使いやすさに徹底してこだわった管理画面

Arcserve Replication/High Availabilityには、レプリケーションの状況がひとめでわかる各種の管理画面が備わっています。すべて日本語化されており、理解しやすい画面によって、管理者にストレスを与えず、スムーズな操作を実現できます。



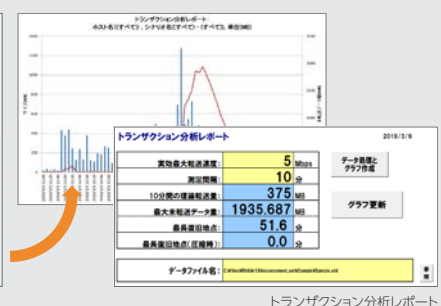
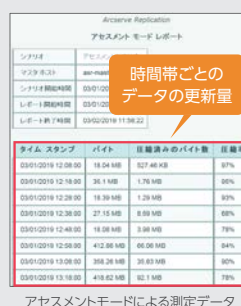
Arcserve® Backupと連携し、業務に影響を与えずバックアップ

Arcserve Replicationは、Arcserveのバックアップソフト、Arcserve Backupと連携する機能が備わっています。複製サーバからテープにバックアップできるので、災害対策拠点へテープを転送する手間を省くことができます。この場合、ユーザは本番サーバでバックアップを行う必要がないので、本番サーバへの負荷も軽減されます。



最適な回線速度を計るアセスメントツールで安心のWAN越え

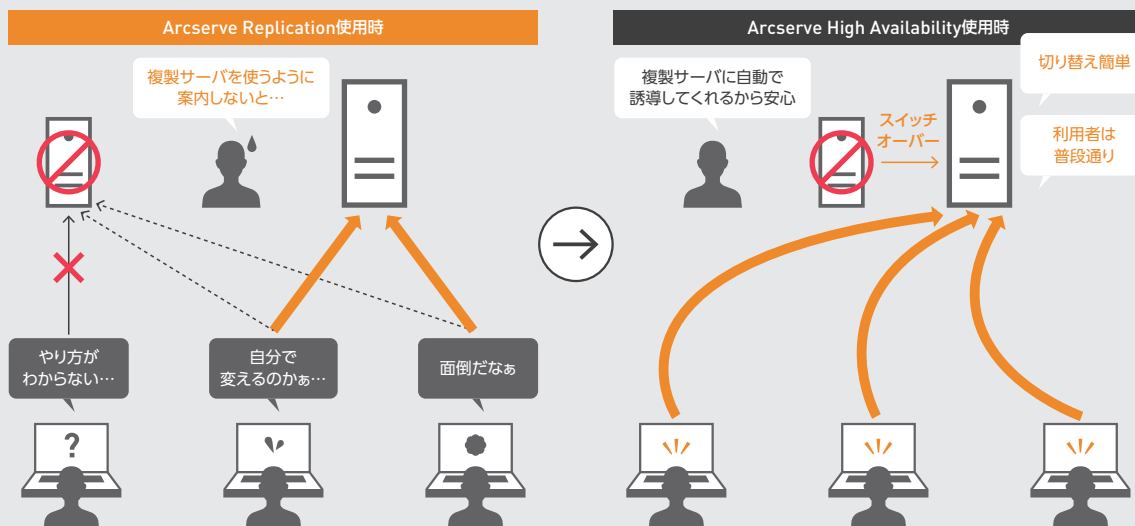
Arcserve Replication/High AvailabilityではLANに比べて低速で信頼性の低いWANを有効に活用するための数多くの機能を備えています。たとえば、アセスメントモードによって、時間当たりの変更量を測定することができます。この情報からレプリケーションに必要な帯域幅やディスク容量をあらかじめ見積もることができます。



切り替えを自動化する「Arcserve High Availability※」

切り替えも簡単に! さらなる可用性を実現する「スイッチオーバー」

Arcserve High Availability には、複製サーバ側で常に本番サーバの状態をモニタリングし、本番サーバでの障害発生時に、自動的に切り替え作業を行う「スイッチオーバー機能」が備わっています。ユーザは複製サーバへ自動的に誘導されるので、障害を意識することなく利用できます。そのため、管理者の手間をかけることなく、実質的な停止時間を最小化できます。



※ エフサステクノロジーズでは、本機能を Arcserve UDP Premium Plus Edition で提供

SupportDesk だからこそできる安心のサポート

ソフトウェア／ハードウェアを専門技術者が一括サポート

OSやハードウェアが関連する問題もトータルで対応

お客様環境では様々なハードウェア／ソフトウェアが動作しており、トラブルが発生した場合の問題の特定が困難です。エフサステクノロジーズのSupportDesk では、ハードウェア／ソフトウェア間の問題もエフサステクノロジーズ内で迅速に調査し、さらにArcserve 社とも協力の上、問題の早期解決を支援いたします。

Arcserve社サポートから プラス1年の継続サポート

エフサステクノロジーズのSupportDeskなら、Arcserve社のサポート期間が終了しても1年間は継続してサポートを受けることができます。

- Arcserve社のサポート終了後でも、エフサステクノロジーズの豊富な事例で対応
- エフサステクノロジーズがArcserve社より入手済みの修正プログラムを提供

トラブル事例

事象 不定期にテープ装置へのバックアップに失敗

原因 テープ装置のファームウェアの不具合

SupportDesk の対応

ソフト技術者がArcserve側のログを解析。
テープ装置からのリターンコードが原因と推測。

推測結果を基にソフト・ハード技術者間で
直接調査状況を共有し、連携して調査。

原因判明までに 約2日

一般のサポート(ソフト・ハードのサポートが別)

ログ解析は行いが、テープ装置が要因と推測できた時点で
ソフト会社の調査はそこで終了。

お客様または担当SEがハード会社へ問い合わせ。

お客様/ 担当SEを介すると調査内容がハード会社や
ソフト会社へ十分に伝わらず、何度もやりとりが発生。

原因判明までに 約14日

構成例

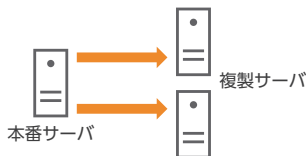
Arcserve Replication でレプリケーションを行う場合、1対1の基本的な構成のほか、本番サーバ1台に対して複数台の複製サーバを用いる構成(1対N)や、複数台の本番サーバに対して複製サーバ1 台で対応する構成(N対1)など、柔軟な構成が可能です。さらに、Arcserve High Availability を用いて、自動スイッチオーバーを行う構成も可能です。

1:1 は
もちろん、
N:1
構成も

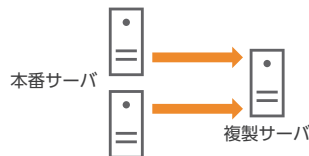
1対1レプリケーション



1対Nレプリケーション



N対1レプリケーション



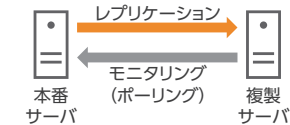
1対1対1レプリケーション



シングルサーバ・レプリケーション



1対1自動スイッチオーバー



※Arcserve High Availabilityを使う構成です

N対1自動スイッチオーバー



※Arcserve High Availabilityを使う構成です

動作要件 詳細は弊社Webをご覧ください。

対応OS	対応アプリケーション
Windows Server、Windows Storage Server などに対応	Exchange Server、Microsoft SQL Server、 Internet Information Services (IIS)、Oracle Databaseなどに対応

ラインアップ

簡単・低価格! リアルタイムでお手軽なレプリケーション Arcserve Replication

ビジネスの
安心を
お求めやすい
価格で!

ファイルサーバ専用製品 ^{*1}	Arcserve Replication 18.0 for Windows Standard for File Server
標準版	Arcserve Replication 18.0 for Windows Standard with Assured Recovery
	Arcserve Replication 18.0 for Windows Enterprise with Assured Recovery
	Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery ^{*2}
	Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery 5 Pack ^{*2}
	Arcserve Replication 18.0 for Windows VM Protection per Host License ^{*3}

※商品価格については、弊社営業または販売パートナーまでお問い合わせください。 ※ Arcserve High Availabilityの機能をご利用される場合は、「Arcserve UDP 10 Premium Plus Edition - Socket」をご検討ください。 ※ 商品には、1年間のアップグレード権利がついています。アップグレード権の有効期間中に、新バージョンがリリースされた場合、最新のソフトウェアをご入手いただくことができます。 ※ 商品ご購入後の使用方法や技術的なお問い合わせは、エフサステクノロジーズの SupportDesk サービスをご活用ください。エフサステクノロジーズの SupportDeskでは、平日8:30 ~ 19:00 / 24時間365日のサービスをご用意しています。価格については弊社営業または販売パートナーへお問い合わせください。 ※1 データベースのレプリケーションや無停止テスト機能をご利用頂くには、標準版をご購入ください。 ※2 仮想マシン(ゲスト OS)に本製品をインストールする場合に利用するライセンスです。 ※3 仮想ホスト単位のライセンスで、仮想ホスト上の仮想マシンの数に制限はありません。

※ エフサステクノロジーズでの動作要件の詳細、最新情報はエフサステクノロジーズ公開サイトをご覧ください。

製品情報

エフサステクノロジーズ公開サイト <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/index.html>

Arcserve Japan公開サイト <https://www.arcserve.com/jp/products/arcserve-replication-and-high-availability>

SupportDesk

エフサステクノロジーズ公開サイト <https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>

30日間無償トライアル

Arcserve Japan公開サイト <https://www.arcserve.com/jp/free-backup-software-trial/>

- すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。
- 製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- このカタログに掲載されている内容については、改善などのため予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。

Copyright © 2025 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

製品についてのお問い合わせは

エフサステクノロジーズ株式会社

〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1番地5 JR川崎タワー
お問い合わせ <https://www.fujitsu.com/jp/fsas/contact/>